



# めだかだより



草笛学園 2026年 7・8月号

暑さが日に日に増し、本格的な夏を迎えました。今月は水遊びなど夏ならではの遊びを取り入れながら、一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切に、楽しく過ごしていきたいと思えます。熱中症予防のため、水分補給や休息を十分にとりながら活動をすすめていきたいと思えます。



## 『子どもは自分で発達したいと思っている』

大人たちは、子どもの発達のために何とかしてやらねばとか、ちゃんとしてやらなかったからいけないなどと、自分が子どもに何かしてやることばかりを考えがちです。

しかし本来子どもは、発達できる条件さえ整っていれば、自分の力で発達を獲得していきます。

例えば、乳児期の運動発達のハイハイがそうです。ハイハイを大人が横で見せても子どもは覚えません。腕や足腰、腹筋の力がついてきて、近くに興味があるものがある、大好きな人が前から呼んでくれて、子どもがそこへ行きたいな—と思うときに、重たいおしりを上げて前に進んでいきます。(中略)

遊びも同じです。おもちゃが前にあっても、それを面白そうだな—と思う心が育っていないと、少しだけさわっておしまいになります。いくら大人が手をとって積み木を積むことを教えても、少しはまねをするかもしれませんが、自分からやろうとはしません。

大人と一緒に積み木を積んで、倒れるのを楽しんだり、「上手に積めたね—」とほめてくれる存在が無ければ、もう1回やってみようという気にはなりません。(中略)

大切なことは、子どもに「～したい」という気持ちを育てることです。それは、大人が「～させる」ことよりもっと大切であることをわかっていただきたいのです。

例えば、子どもに積み木遊びをさせたいと思ったら、まずは大人が積み木で楽しく遊んでいる姿を子どもに見せることです。大好きな大人が楽しそうに遊んでいると、子どもは近寄ってきます。自分から大人のまねをして積んでみようとしみます。うまく積めなかったときに、大人の励ましのことが聞こえて、もう1回チャレンジしようとしみます。そして、うまく積めた時に「すごい!」「じょうず!」とほめてもらい、うれしくなって「もう1回」挑戦してみます。この過程のなかで、「自分でできた!」という達成感を身につけます。この気持ちが、「もっとやりたい」とか、「つぎは～しよう」という意欲に結びついていきます。

条件さえ整えば、子どもは自分から力をつけていきます。大人が子どもにさせるのではなく「やりたくなる」その条件づくりが大人の役割ではないでしょうか。

参考文献『ちょっと気になる子どもと子育て』池添 素 著

※個別相談も行っています。職員とゆっくり話がしたい、子どもの発達状況を知りたいなどございましたら、担当職員の方にお知らせください。

次回のめだか教室は…



めだか教室①…8月の開催はありません

9月8日(火) 9:50~11:30 『しゃぼんだま』をします

◎持ってくるもの タオル・着替え・水筒



めだか教室②…8月の開催はありません

9月29日(火) 9:50~11:30 『しゃぼんだま』をします

◎持ってくるもの タオル・着替え・水筒

※保護者の方も動きやすい服装でお願いします。

※園舎の工事の為、当面の間は受付時間を9:50~に変更しています。

『参加される皆様へ』~ご協力お願いします~

- お休みされる場合は、学園までご連絡ください。
- 参加費は無料です。(おたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため) 製作やクッキングの活動時には材料費として100円いただきます。その都度連絡します。
- 水分補給の為、お茶を用意してください。(ジュース類は控えてください)
- きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は、事前に職員までご相談ください。
- トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください。

